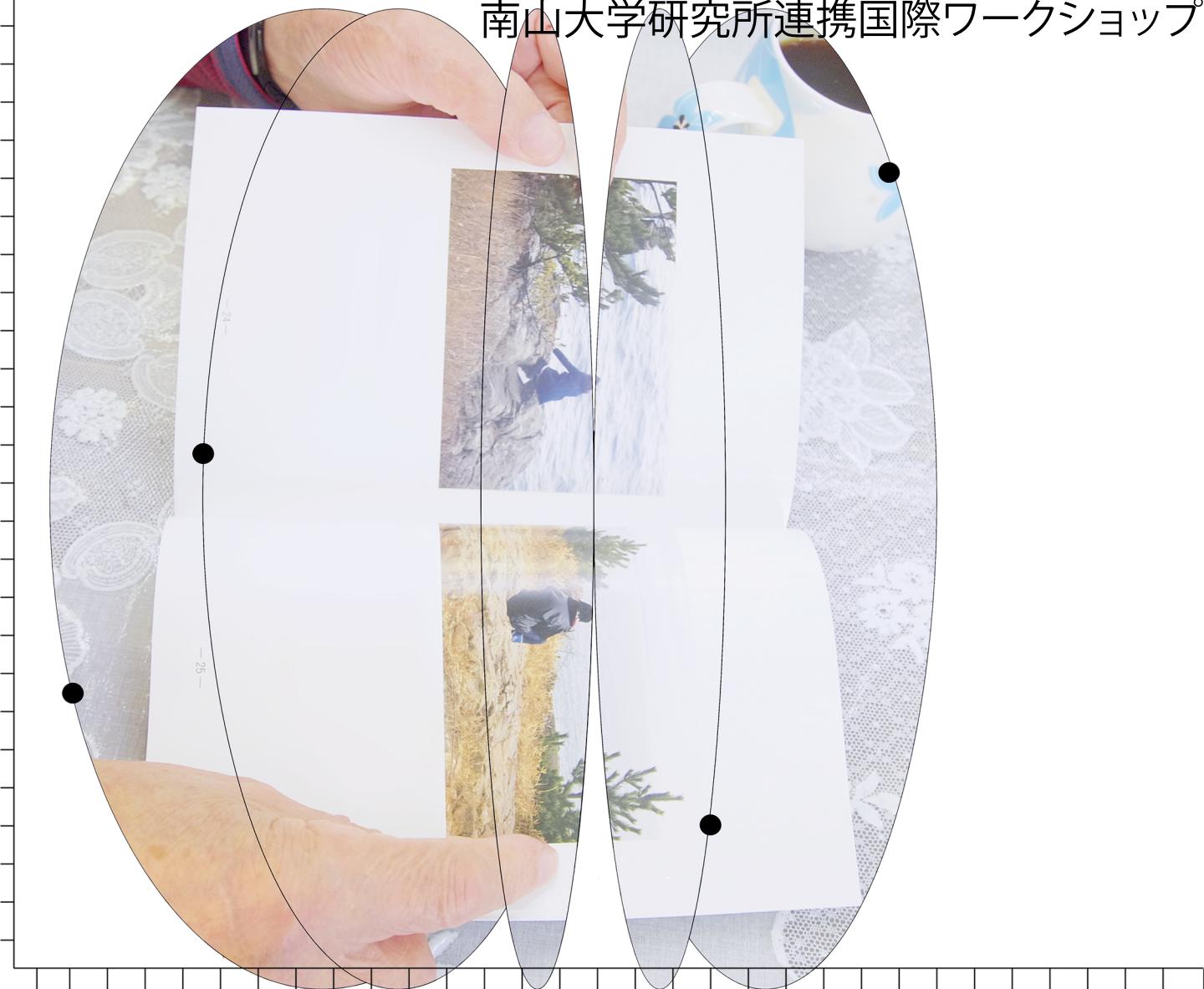


孤独と孤立の あいだを考える

南山大学研究所連携国際ワークショップ



2022年11月5日(土)
15:00～17:00

南山宗教文化研究所1階会議室
[Zoom webinarでの配信あり]

司会兼通訳:エンリコ フォンガロ(南山宗教文化研究所)
*使用言語は、イタリア語あるいは日本語です。

【プログラム】

15:00-15:50 報告1「孤独省:芸術から孤独を研究する」レベッカ モッチャ(芸術家)

15:50-16:40 報告2「日本における孤独・孤立対策と自殺対策」森山花鈴(社会倫理研究所)

16:40-16:50 コメント1 ウィニバルドス ステファヌス メレ(社会倫理研究所)

16:50-17:00 コメント2 奥田太郎(社会倫理研究所)

【報告要旨】

報告 1

「孤独省：芸術から孤独を研究する」 レベッカ モッチャ

本報告の目的は、マルチメディア・インсталレーションに取り組む現代のビジュアル・アーティストとしての私の実践の中から、現在進行中のプロジェクト「孤独省」を紹介し、その背景を説明することにある。

このプロジェクトは、コロナ禍に経験された共通の孤独感から出発し、新自由主義社会における「孤独」の心情を探るものである。その実用的かつ象徴的な出発点は「孤独省」である。孤独に関わる社会問題および健康問題に対処すべく2018年に英国で担当大臣が任命され、他の国々、たとえば、日本でも2021年に同様の任命があった。

このプロジェクトを進めるべく、イギリス、アメリカ、イタリア、そして日本など、異なる文化的・地理的文脈の中で研究を発展させ、次の問い合わせに取り組んでいる。

・新自由主義的なハイパーコネクト社会で孤独であるとはいいかなることか？

・孤独は物質的な形でどのように現れ、そのことは私たちが生きる社会・政治的文脈とどう関わっているのか？

・今日の「孤独」は、共通の感情として私たちを力づけることができるのか？

*本プロジェクトは、イタリア文化省のプログラム・イタリアンカウンシルの助成を受けており、制作されたマルチメディア・インсталレーションは、2023年にミラノの現代芸術研究所(ICA)で展覧会を開催される予定です。

報告 2

「日本における孤独・孤立対策と自殺対策」 森山花鈴

日本では2021年に内閣官房に孤独・孤立対策室が設置され、英国に続き世界で2番目の孤独・孤立担当大臣が誕生した。孤独・孤立は、自殺と大きく関連すると言われる。本報告では、特にコロナ禍での日本における孤独・孤立および自殺の現状と対策を報告する。